



小中一貫教育について

2026.2.5

第3回中学校再編検討委員会

小中一貫教育について

1. 小中一貫教育とは
2. 小中一貫教育が求められる背景
3. 小中一貫教育の種類
4. 小中一貫教育の良い点と課題
5. 小中一貫教育の成果と課題
6. 小中一貫校・義務教育学校の事例
7. 義務教育学校が増えている背景

小中一貫教育とは

小学校の6年間と中学校の3年間を合わせた9年間を、一つのまとまりとして捉え、連携や統合を進めていく教育

小中学校間の「中1ギャップ」と呼ばれる学習や生活上の段差を解消し、「生きる力」を育み、子どもたちが安心して9年間を成長し続けられるよう支援することを目的としています



小中一貫教育とは

＜小中連携教育＞

小・中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

＜小中一貫教育＞

小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、**9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育**



小中一貫教育が求められる背景

小中一貫教育が求められる背景として、国は次の5点をあげている。

- ①教育基本法(平成18年)、学校教育法の改正(平成19年)による義務教育の目的・目標規定の新設
- ②近年の教育内容の量的・質的充実への対応
- ③児童生徒の発達の早期化等に関わる現象
- ④中学校進学時の不登校、いじめなどいわゆる「中1ギャップ」への対応
- ⑤少子化等に伴う学校の社会性育成機能の強化の必要性

小中一貫教育の種類



- 義務教育学校
- 小中一貫型小学校・中学校
 - 施設一体型
 - 施設隣接型
 - 施設分離型

義務教育学校

小学校と中学校の**区別をなくし**、**1人の学校長**のもとで9年間を一貫して教育



- 2016年に制定
- 小学校と中学校の免許状の併用が義務
- 前期課程 1～6年生 後期課程 7～9年生
※柔軟なカリキュラム 4-3-2教育 5-4教育

義務教育学校

小学校と中学校の**区別をなくし**、**1人の学校長**のもとで9年間を一貫して教育



- 2025年現在 全国で261校（前年比+23校）

少子化が進んでいる地域

廃校 → 子どもたちを含めた若年層が流出

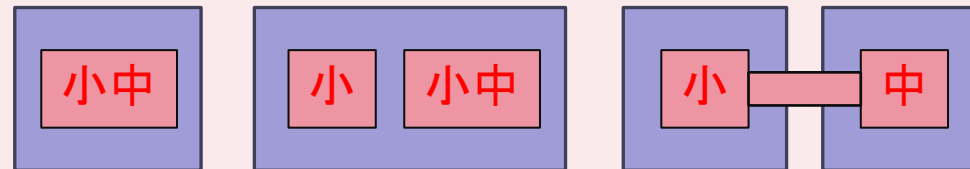
コスト → 維持の経費・建て替えの経費

小中一貫型小学校・中学校（施設一体型）

小学校と中学校の**区別は残しつつ**、同じ目標のもと**9年間**を見通した教育



- 施設が一体（一部分が一体となっている場合も含む）
- 校長：それぞれ配置
- 教職員：それぞれ配置
- 小学校6年 中学校3年

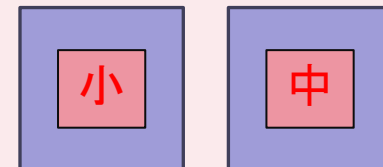
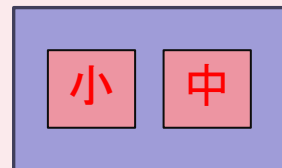


小中一貫型小学校・中学校（施設隣接型）

小学校と中学校の**区別は残しつつ**、同じ目標のもと**9年間**を見通した教育



- 小中学校が**同一敷地内**または**隣接する敷地内**に**別々**に設置
- 校長：それぞれ配置
- 教職員：それぞれ配置
- 小学校6年 中学校3年

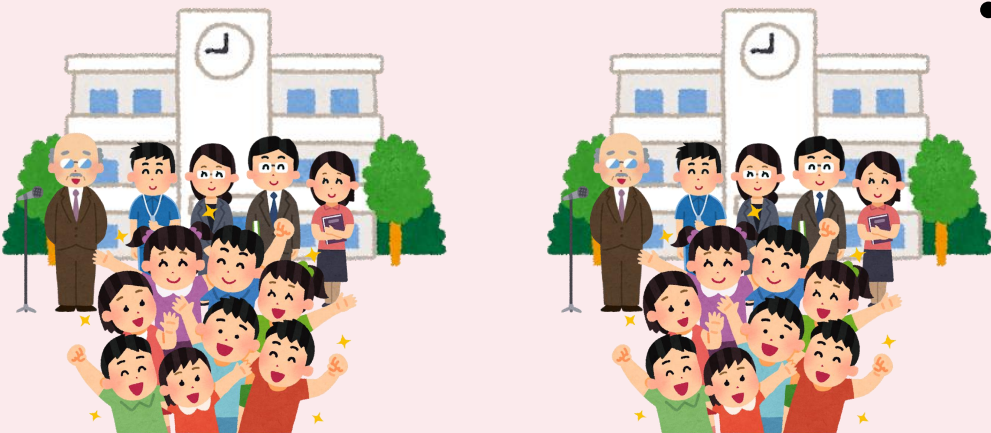


小中一貫型小学校・中学校（施設分離型）

小学校と中学校の**区別は残しつつ**、同じ目標のもと**9年間**を見通した教育



- 小中学校が**隣接していない異なる敷地**に設置
- 校長：それぞれ配置
- 教職員：それぞれ配置
- 小学校6年 中学校3年



良い点と課題



良い点

- ・ 義務教育学校の教育の特例【義務教育学校】
- ・ 区切りを6-3以外に柔軟に【義務教育学校】
- ・ 柔軟性・連続性を意識した小中一貫教育
- ・ 中1ギャップの緩和・解消
- ・ 異学年交流による精神的な発達
- ・ 継続的な指導



課題

- ・ 小1と中3は差による交流の課題【義務教育学校】
- ・ 小学校卒業の達成感【義務教育学校】
- ・ 休み時間に低学年が委縮する可能性【校舎が1つ】
- ・ 中学校の新鮮さが無い【校舎が1つ】
- ・ 中学生相当の生徒の悪影響の恐れ
- ・ リーダーシップや自主性を養う機会が減る
- ・ 人間関係が9年間固定しやすい



小中一貫教育の成果と課題

【実施する学校での成果】 ※「大きな成果が認められる」回答が特に多い項目

- 中学校への進学に不安を覚える児童が減少した
- いわゆる「中 1 ギャップ」が緩和された
- 小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった
- 小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった
- 小・中学校共通で実践する取組が増えた



【実施する学校での課題】 ※「大きな課題が認められる」回答が特に多い項目

- 小中の教職員間での打ち合わせ時間の確保
- 小中合同の研修時間の確保
- 児童生徒間の交流を図る際の移動手段・移動時間の確保
- 教職員の負担感・多忙感の解消



愛知県の事例

瀬戸市にじの丘学園



令和2年4月開校 小学校663人（24学級） 中学校199人（9学級）

令和6年度 小学校831人（31学級） 中学校324人（13学級）

瀬戸市の小中一貫校教育

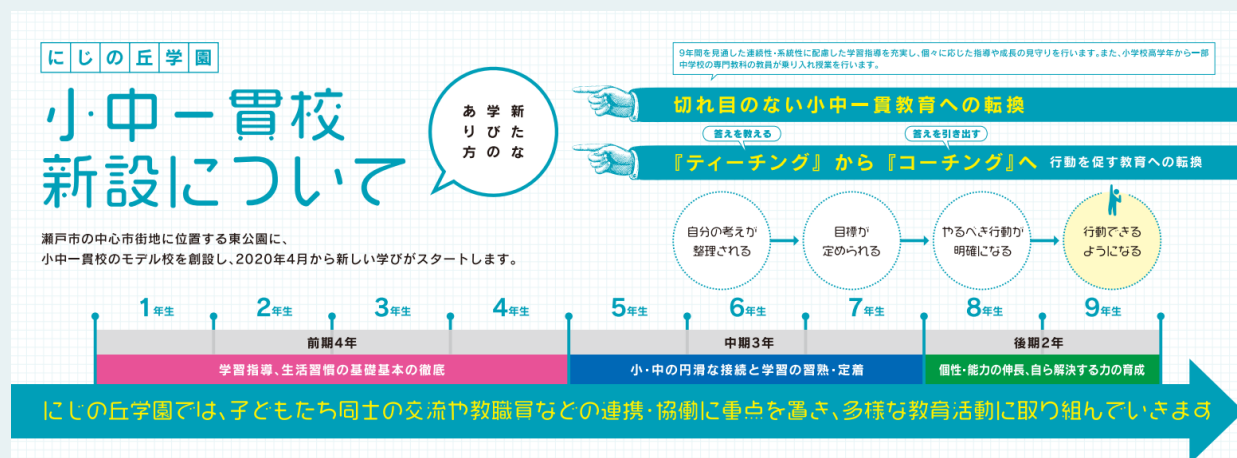
全市的に小中一貫教育を推進

①確かな学力の定着と向上、②豊かな心の育成、③健やかな体の育成、④多様な個性やニーズに応じた教育の推進、⑤地域や社会とつながる教育の推進、⑥ライフステージに応じた切れ目ない教育の推進、⑦適正で魅力ある教育環境の充実

⇒ 自ら考え、学び、**生き抜く力**

愛知県の事例

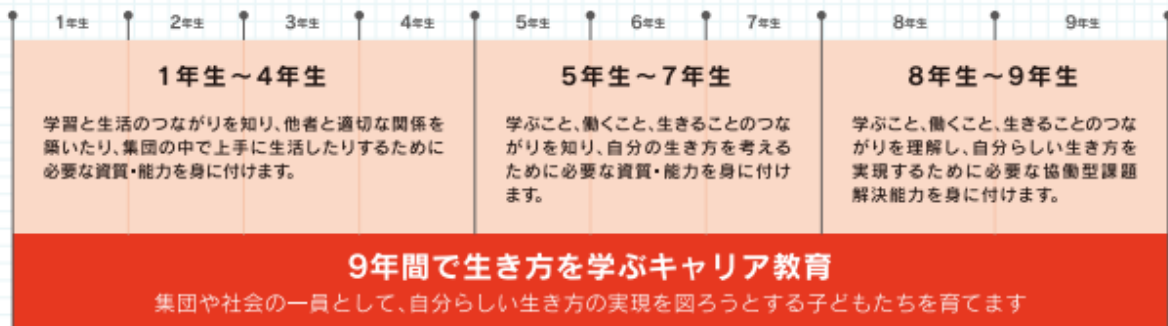
瀬戸市の小中一貫校教育



にじの丘学園教育プログラム

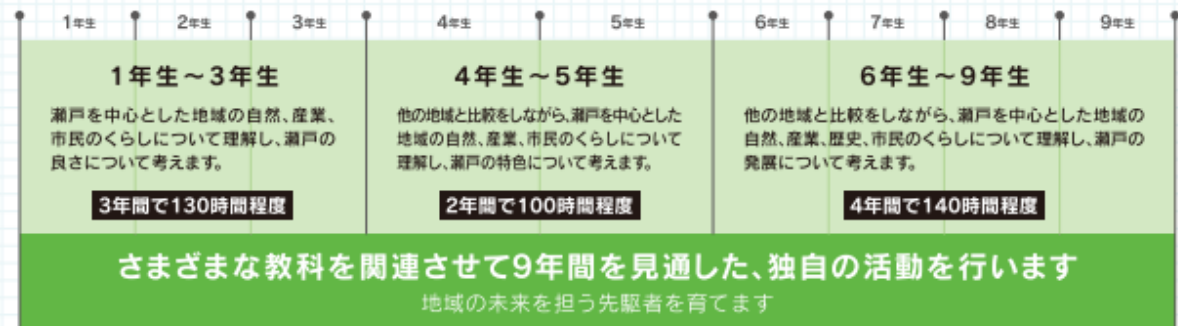
にじの丘学園のキャリア教育

CAREER



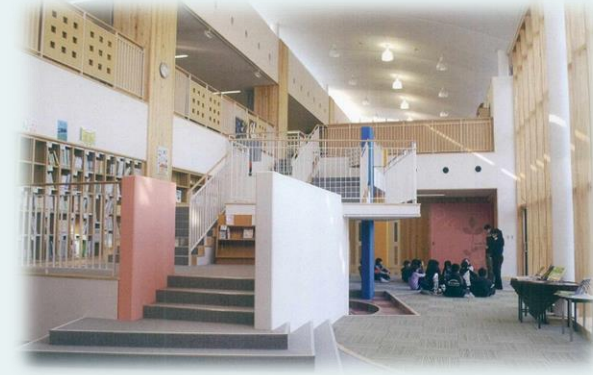
にじの丘学園の地域教育

REGION



愛知県の事例

飛鳥村立飛鳥学園



平成22年 小中一貫教育校 開校

令和2年 義務教育学校「飛鳥村立飛鳥学園」開校

前期課程254人（12学級＋特支） 後期課程149人（6学級＋特支）

5つの柱

- ①未来を切り開く力の育成（地域学習・キャリア教育）、②確かな学力の定着（指導体制の充実・振り返り活動の充実など）③豊かな心の醸成（学校行事・国内、海外研修）、④かかわる力の育成（伝達的な異学年交流、日々の活動における異学年交流）、⑤健やかな体づくり

愛知県の事例

飛鳥村立飛鳥学園

初等部 1階 中高等部 2階

初等部日課表

| | |
|-------|-------------|
| 読書タイム | 8:20~ 8:30 |
| 朝の会 | 8:30~ 8:40 |
| 1時間目 | 8:45~ 9:30 |
| 2時間目 | 9:45~10:30 |
| 3時間目 | 10:45~11:30 |
| 4時間目 | 11:45~12:30 |
| 給食 | 12:30~13:15 |
| 清掃 | 13:20~13:30 |
| 昼休み | 13:30~13:45 |
| 5時間目 | 13:45~14:30 |
| 6時間目 | 14:45~15:30 |
| 帰りの会 | 15:35~15:45 |

中高等部日課表

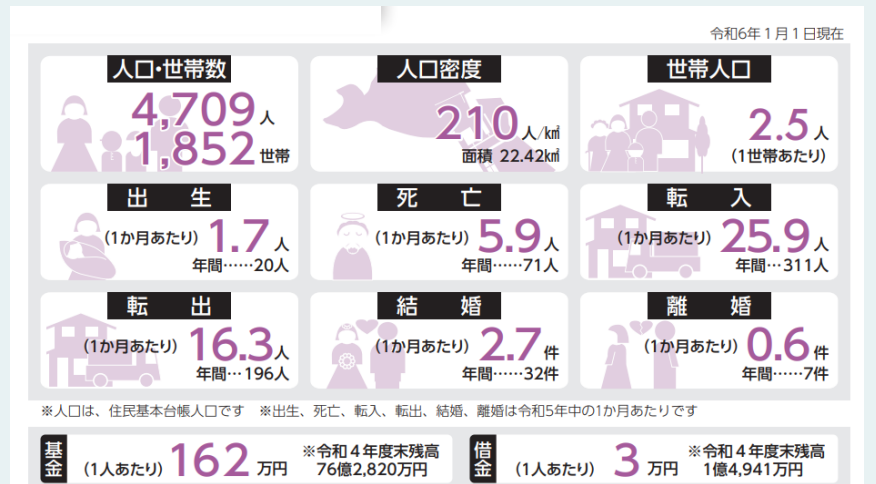
| | |
|-----------|-------------|
| 読書タイム | 8:20~ 8:30 |
| S T | 8:30~ 8:40 |
| 1時間目 | 8:45~ 9:35 |
| 2時間目 | 9:45~10:35 |
| 3時間目 | 10:45~11:35 |
| 4時間目 | 11:45~12:35 |
| 給食 | 12:35~13:15 |
| 清掃 | 13:20~13:30 |
| 昼休み | 13:30~13:45 |
| 5時間目 | 13:45~14:35 |
| 6時間目 | 14:45~15:35 |
| 帰りのST | 15:40~15:45 |
| 委員会・クラブの時 | |
| 帰りの会 | 14:40~14:45 |
| 委・ク | 14:50~15:40 |

| | | | | | | | |
|------|----|-----|-------------------------------|-------|--|-------|---|
| 後期課程 | 9年 | 高等部 | 広い視野をもち 確かな未来を 切り開く | 教科担任制 | 重点努力目標 ・ 全職員の授業力の向上 各自課題意識をもち取り組む 授業アドバイザーの定期的訪問(村費) ・ ふるさと学習「飛鳥未来探究科」の促進 各学年のカリキュラムの見直し 9年の発表を全職員で支える ・ コミュニティ・スクールの促進 ・ あいちつながりプラン2028にかかる取組 | | |
| | 8年 | | | | | | |
| 前期課程 | 7年 | 中等部 | 主体的な学びを 場面や状況に 応じて活用する | | | 学級担任制 | 働き方改革に向けて ・ 休日部活動の地域クラブ活動への定着 ・ 定時退勤日の設定 ・ 在校等時間の自己管理 ・ ICTを活用したペーパーレス化 |
| | 6年 | | | | | | |
| | 5年 | | | | | | |
| | 4年 | 初等部 | 学ぶ楽しさを 知り、学んだこと を生活に生かす | | | | |
| | 3年 | | | | | | |
| 2年 | | | | | | | |
| 1年 | | | | | | | |

住民基本台帳人口・世帯数

| | 人口 | | | | 世帯数 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 総数 | 男 | 女 | 65歳以上 | |
| 平成18年 | 4,437 | 2,190 | 2,247 | 1,021 | 1,231 |
| 平成19年 | 4,505 | 2,231 | 2,274 | 1,054 | 1,264 |
| 平成20年 | 4,505 | 2,228 | 2,277 | 1,068 | 1,286 |
| 平成21年 | 4,493 | 2,208 | 2,285 | 1,105 | 1,288 |
| 平成22年 | 4,496 | 2,225 | 2,271 | 1,110 | 1,320 |
| 平成23年 | 4,526 | 2,236 | 2,290 | 1,109 | 1,327 |
| 平成24年 | 4,524 | 2,243 | 2,281 | 1,139 | 1,361 |
| 平成25年 | 4,663 | 2,336 | 2,327 | 1,183 | 1,495 |
| 平成26年 | 4,626 | 2,304 | 2,322 | 1,213 | 1,483 |
| 平成27年 | 4,599 | 2,296 | 2,303 | 1,255 | 1,494 |
| 平成28年 | 4,587 | 2,303 | 2,284 | 1,271 | 1,496 |
| 平成29年 | 4,604 | 2,316 | 2,288 | 1,301 | 1,554 |
| 平成30年 | 4,683 | 2,349 | 2,334 | 1,320 | 1,633 |
| 平成31年 | 4,791 | 2,414 | 2,377 | 1,347 | 1,713 |
| 令和2年 | 4,819 | 2,438 | 2,381 | 1,378 | 1,773 |
| 令和3年 | 4,794 | 2,436 | 2,358 | 1,392 | 1,792 |
| 令和4年 | 4,666 | 2,361 | 2,305 | 1,408 | 1,703 |

※毎年4月1日時点



高知県の事例

高知市立義務教育土佐山学舎

【学校の概要】

平成23年3月 土佐山百年構想 小中一貫プロジェクトへの位置づけ

平成27年開校 小中一貫校土佐山学舎

平成28年の学校教育法改正により 義務教育学校土佐山学舎に

小学校7学級 91名 中学校5学級 45名

【特徴】

○文部科学省指定

リーディングDXスクール指定校（2023年度～）



リーディングDXスクール事業

公開授業・講演会

令和8年2月13日(金)
13:00-16:30 (受付12:30-)

会場 高知市立義務教育学校 土佐山学舎

講演 東京学芸大学 高橋 純 教授
「すべての子供が深く学ぶ授業づくりの考え方」

公開授業 13:00-

| 学年・学級 | 教科 | 単元名 |
|-------|-----|---|
| 1年生 | 国語 | ことばをあつめよう |
| 2年生 | 生活科 | せい長した自分をふりかえろう |
| 3年生 | 算数 | 三角形と角 |
| 4年生 | 国語 | 自分なら、どちらを選ぶか |
| 5年生 | 社会 | 森林とともに生きる |
| 6年生 | 国語 | 発信しよう、私たちのSDGs |
| 7年生 | 数学 | データの分析と活用 |
| 8年生 | 英語 | Unit7 What are World Heritage sites and their problems? |
| 9年生 | 理科 | 遺伝の規則性 |

申し込み方法
参加のお申し込みは、右記の2次元コードからお願います。

お問い合わせ 高知市立義務教育学校土佐山学舎
〒781-3221 高知市土佐山桑尾13 TEL: 088-895-2003

高知県の事例

高知市立義務教育土佐山学舎

【リーディングDXスクール】

G I G A 端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を徹底的に活用し、情報活用能力の育成を図りつつ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実や校務DXを推進。

ビジネスパーソンが活用しているソフトウェアを子どもたちも同じように使う。大人と同じようにクラウド環境を使いこなし、クラスメートを含む様々なリソースを参照し、学習を自己調整しながら、問題を発見・解決する能力を磨く



リーディングDXスクール事業

公開授業・講演会

令和8年 2月13日(金)
13:00-16:30 (受付12:30-)

会場 高知市立義務教育学校 土佐山学舎

講演 東京学芸大学 高橋 純 教授
「すべての子供が深く学ぶ授業づくりの考え方」

公開授業 13:00-

| 学年・学級 | 教科 | 単元名 |
|-------|-----|----------------|
| 1年生 | 国語 | ことばをみつめよう |
| 2年生 | 生活科 | せい長した自分をふりかえろう |
| 3年生 | 算数 | 三角形と角 |
| 4年生 | 国語 | 自分なら、どちらを選ぶか |
| 5年生 | 社会 | 森林とともに生きる |
| 6年生 | 国語 | 発信しよう、私たちのSDGs |

| 学年・学級 | 教科 | 単元名 |
|-------|----|---|
| 7年生 | 数学 | データの分析と活用 |
| 8年生 | 英語 | Unit7 What are World Heritage sites and their problems? |
| 9年生 | 理科 | 遺伝の規則性 |

申し込み方法
参加のお申し込みは、右記の2次元コードからお願いします。

お問合せ 高知市立義務教育学校土佐山学舎
〒781-3221 高知市土佐山桑尾13 TEL: 088-895-2003

高知県の事例

大豊町立大豊学園

【学校の概要】

大豊中学校・おおとよ小学校が一体となって令和4年に開校
全校児童・生徒 117名



【特徴】

○地域への図書館の開放（授業日の 火曜・木曜 14時～16時）

○前期課程 1～5年生 後期課程 6～9年生

○オーストラリアヘリベリー校と友好関係の絆（覚書）

毎年6月 ヘリベリー校 生徒・教職員が来町

9年生：夏季休業中 ヘリベリー校で10日間の海外研修

○6年生は3学期から部活動

| | | | |
|---|--|--|--|
|  総面積 315.06平方km |  総人口 2, 878人 |  人口 (男) 1, 354人 |  人口 (女) 1, 524人 |
|  年少人口【15歳未満】 154人 |  高齢人口【65歳以上】 1, 752人 |  世帯数 1, 782世帯 |  人口密度 1平方km当たり9.13人 |
|  標準財政規模 令和6年度 3, 791, 342千円 |  財政力指数 令和6年度（単年度）0.18 |  小学校数 1校 |  中学校数 1校 |
|  交通事故発生件数 令和6年度 5件 |  医療施設数 3所 |  歯科診療所数 1所 |  火災発生件数 令和5年度 1件 |

高知県の事例

大豊町立大豊学園



1年生から外国語（英語）に慣れ親しみ、他教科や行事とつながりをもたせながら英語学習を。



9年間を通して、6つのキーワードである「自然」「文化」「歴史」「地域資源」「人」「生き方」をもとに大豊を心に刻む教育として生活科・総合的な学習の時間に取り組む。



義務教育学校が増えている背景

- ①少子化と学校の統廃合の促進
- ②中1ギャップの解消と学力向上
- ③教員の働き方改革と負担軽減（校務分掌の効率化など）
- ④多様な子どもへの対応・社会性の育成
- ⑤教育課程の弾力化と特色ある教育（特例）

教育課程特例校・授業時数特例校

義務教育学校が増えている背景

教育課程特例校

文部科学大臣の指定を受け、学習指導要領の基準にとらわれず、地域の実態や学校の特色を生かした特別な教育課程（カリキュラム）を編成・実施

【具体例】

- ・小学校と中学校の枠を超えた「ふるさと科」「スキー科」の新設
- ・小6と中1の合同授業や教科担任制の導入

義務教育学校が増えている背景

授業時数特例校

一部の教科や領域の授業時数を、学習指導要領で定められた時間数から増減させることができる

【具体例】

- ・小中学校で「外国語活動」や「英会話科」の時間を柔軟に設定する
- ・各教科の事業時間を調整し、減らした時数を総合的な学習の時間に集中配当。企業と連携した「プロジェクト型学習」を実施